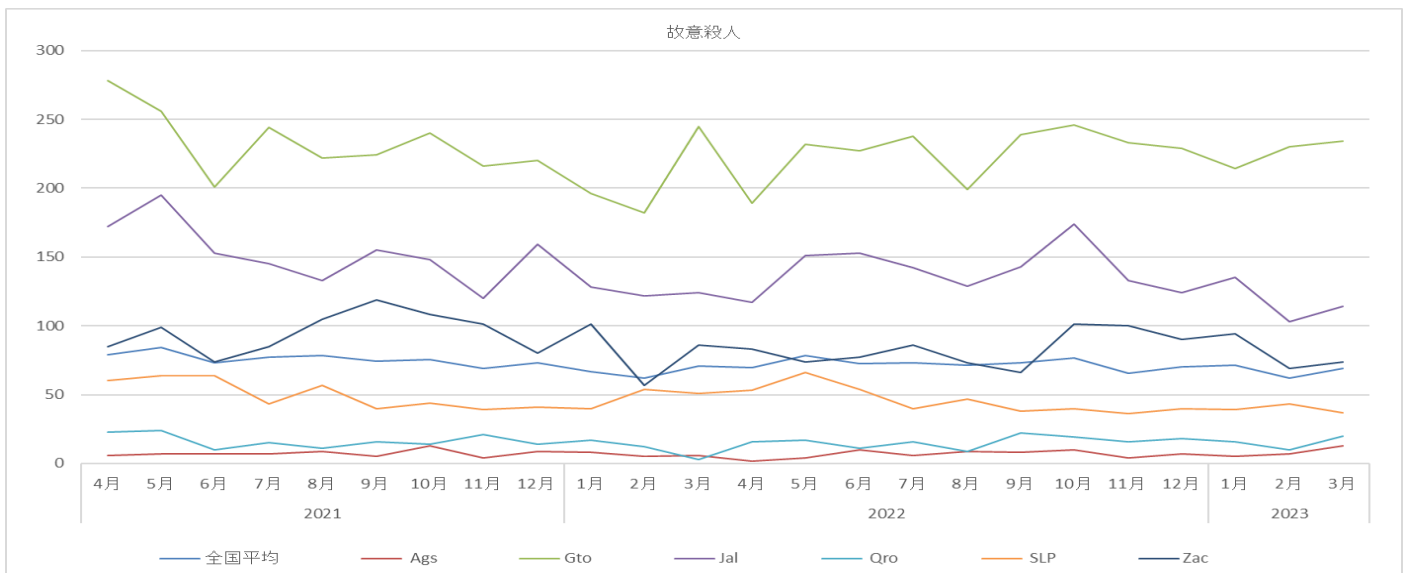
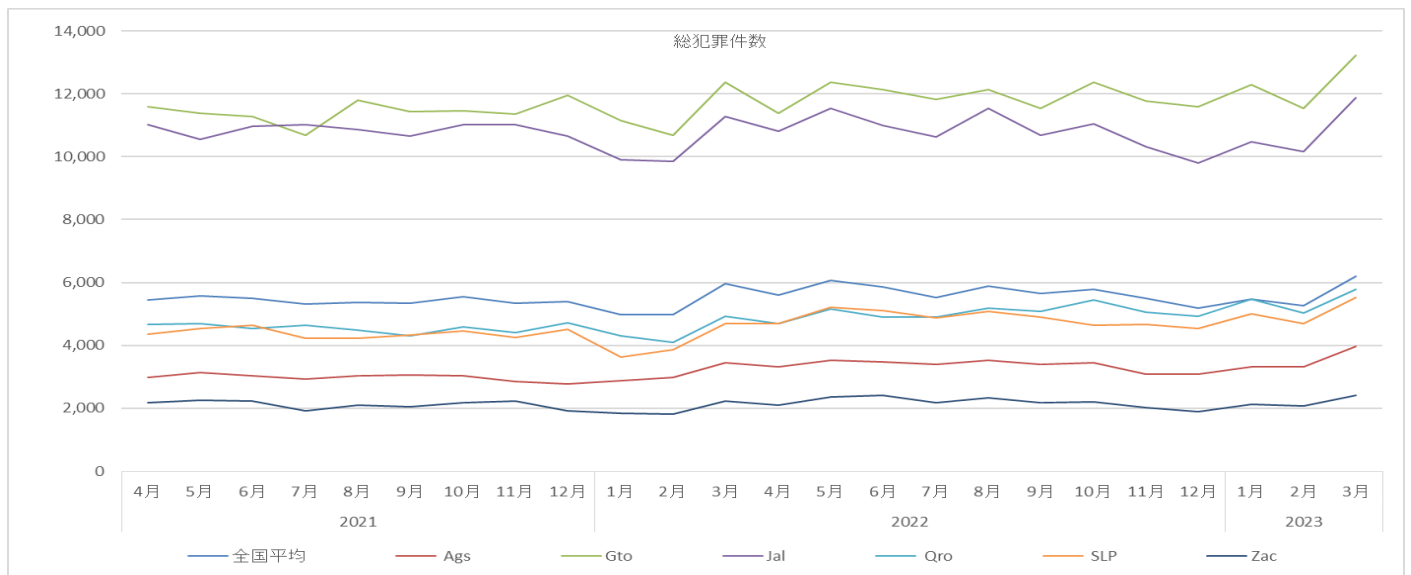
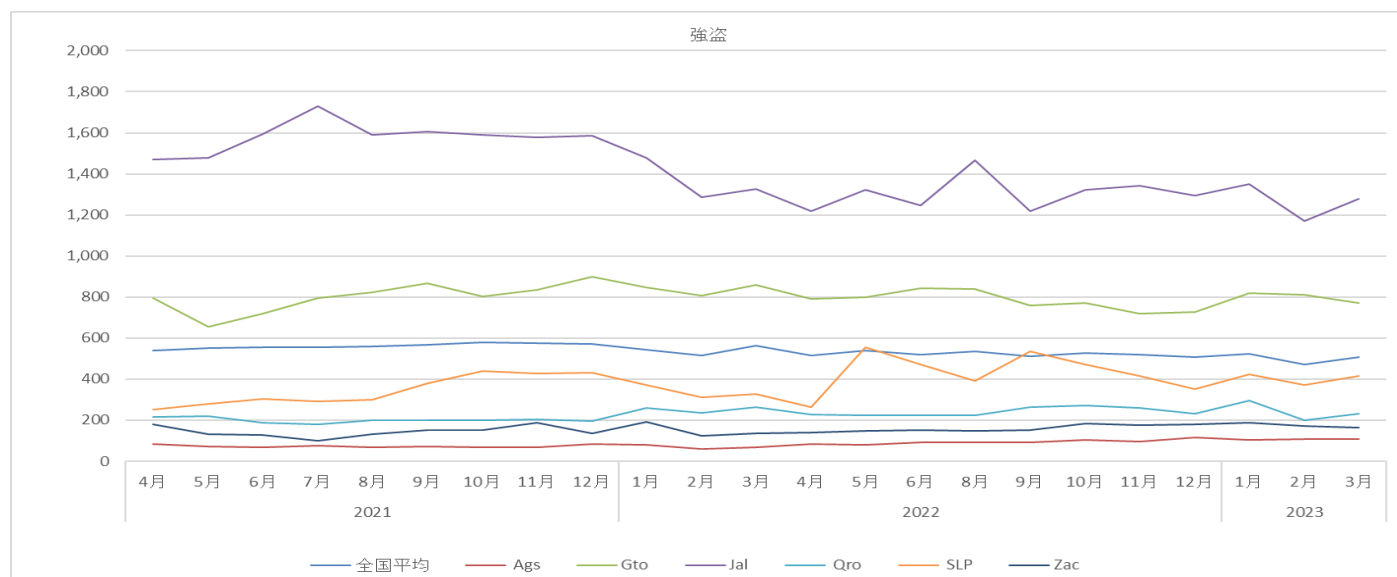


1 治安・社会情勢

メキシコ国内では複数のカルテル（麻薬組織）が存在しており、故意殺人の多くはカルテルによる抗争が大きく関係していると言われています。特にグアナファト州は、サンタ・ロサ・デ・リマ・カルテル（CSRL）とハリスコ新世代カルテル（CJNG）との抗争が数年間続いている影響もあり、全国的にも故意殺人が多く発生している州となっております。近年では CSRL は弱体化していると言われておりますが、シナロア・カルテルも本格的に CJNG と抗争を始めたとの情報もありますので抗争はまだ続くと考えられます。一般的には、カルテルの標的は麻薬関係者などの犯罪組織に関わる者と言われておりますが、カルテル同士の銃撃戦に一般市民が巻き込まれたり、誤認により殺害されるケースもあるため十分注意が必要です。

当館管轄の6州では、最近サカテカス州も激しい抗争地域となっており凄惨な事件も多く報道されております。隣接しているアグアスカリエンテス州でも、サカテカス州の抗争に関連するような事件や逮捕者も出ており、州境には警察を配備するなど緊張が高まっております。国内でカルテルが活動していない州はなく、複数のカルテルが1つの州内で活動していることも多く見られ、カルテル同士で協定を結び上手く棲み分けしている州（地域）は故意殺人が少ない傾向にありますが、グアナファト州やサカテカス州のように、何かのきっかけで抗争が始まれば治安は一気に悪化する可能性もありますので、治安情報は常に新しい情報を入手するよう心掛けて下さい。





2 管轄地域内における一般犯罪の傾向

(1) グアナファト州

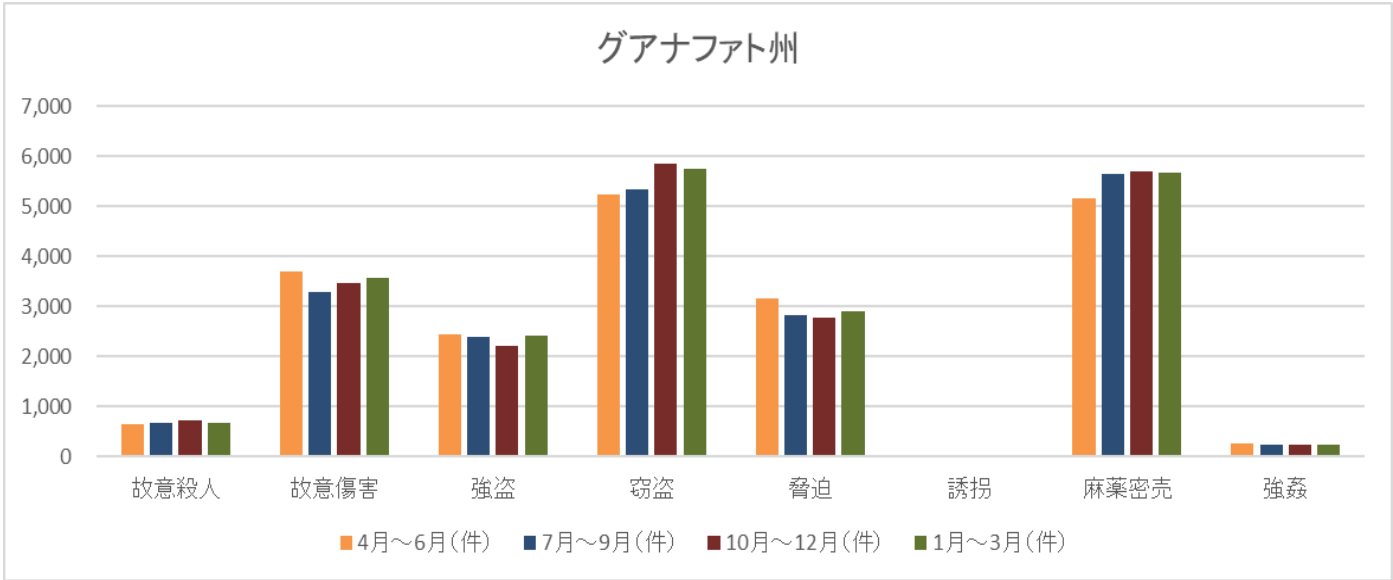
・人口約616万人 犯罪認知総数（1月～3月）37,038件

故意殺人の件数は緩やかに減少しておりましたが、2022年に入り再び増加傾向となっていることから、カルテルの抗争が激化していると予想されます。治安関係者や一般市民を巻き込んだ銃撃事件や複数の小規模店舗を同時に放火する事件が発生しており、2023年も抗争状態は継続すると考えられます。また、一般犯罪の増加も見られますので十分注意が必要です。

・邦人被害（1月～3月）0件

1月～3月の邦人被害報告はありませんでした。

■主な犯罪	4月～6月(件)	7月～9月(件)	10月～12月(件)	1月～3月(件)
故意殺人	648	676	708	678
故意傷害	3,700	3,287	3,471	3,558
強盗	2,437	2,390	2,218	2,407
窃盗	5,236	5,343	5,840	5,755
脅迫	3,144	2,817	2,767	2,894
誘拐	3	1	1	2
麻薬密売	5,153	5,644	5,701	5,658
強姦	267	240	220	230



(2) アグアスカリエンテス州

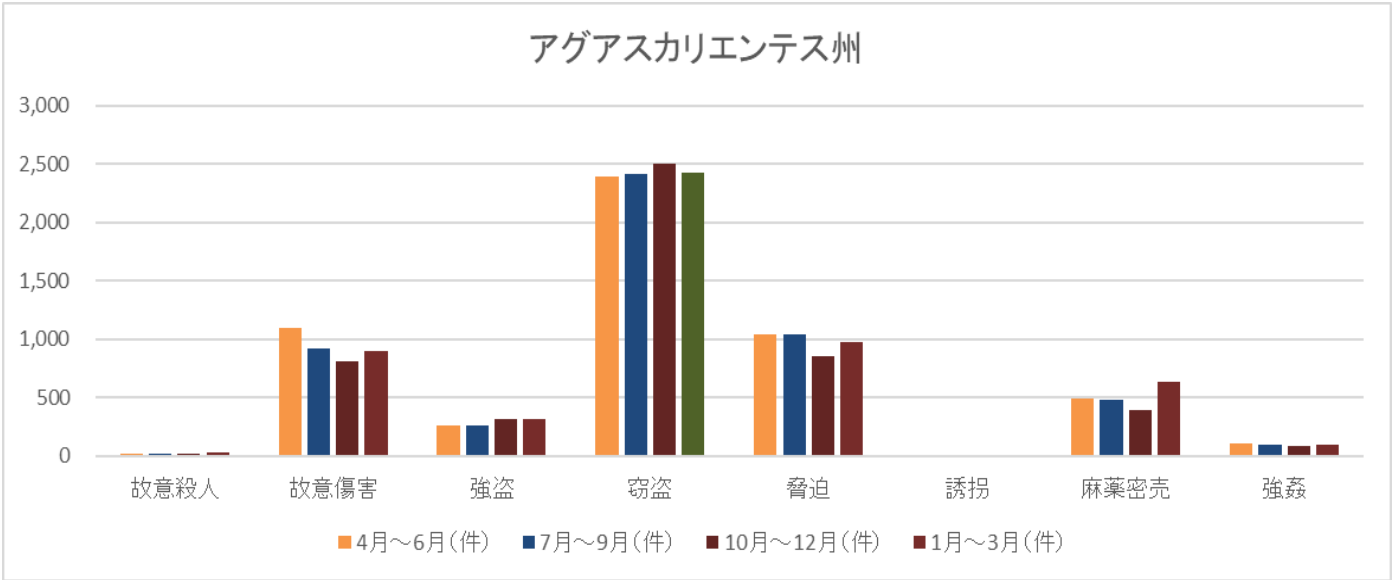
・人口約142万人 犯罪認知総数（1月～3月）10,601件

犯罪件数は少ない州ですが、犯罪発生率（人口の割合）では窃盗や強盗が多く発生している州です。犯罪の多くはアグアスカリエンテス市で発生しており、窃盗の中でも特に車上荒らしは邦人被害が多いため、駐車する位置は人目の多いところを選定し、貴重品は車内に残さないといった対策を徹底してください。

・邦人被害（1月～3月）0件

1月～3月の邦人被害報告はありませんでした。

■主な犯罪	4月～6月(件)	7月～9月(件)	10月～12月(件)	1月～3月(件)
故意殺人	16	23	21	25
故意傷害	1,091	920	809	902
強盗	255	256	314	318
窃盗	2,391	2,418	2,505	2,421
脅迫	1,036	1,040	856	976
誘拐	0	1	1	0
麻薬密売	490	479	396	638
強姦	104	93	80	96



(3) ハリスコ州

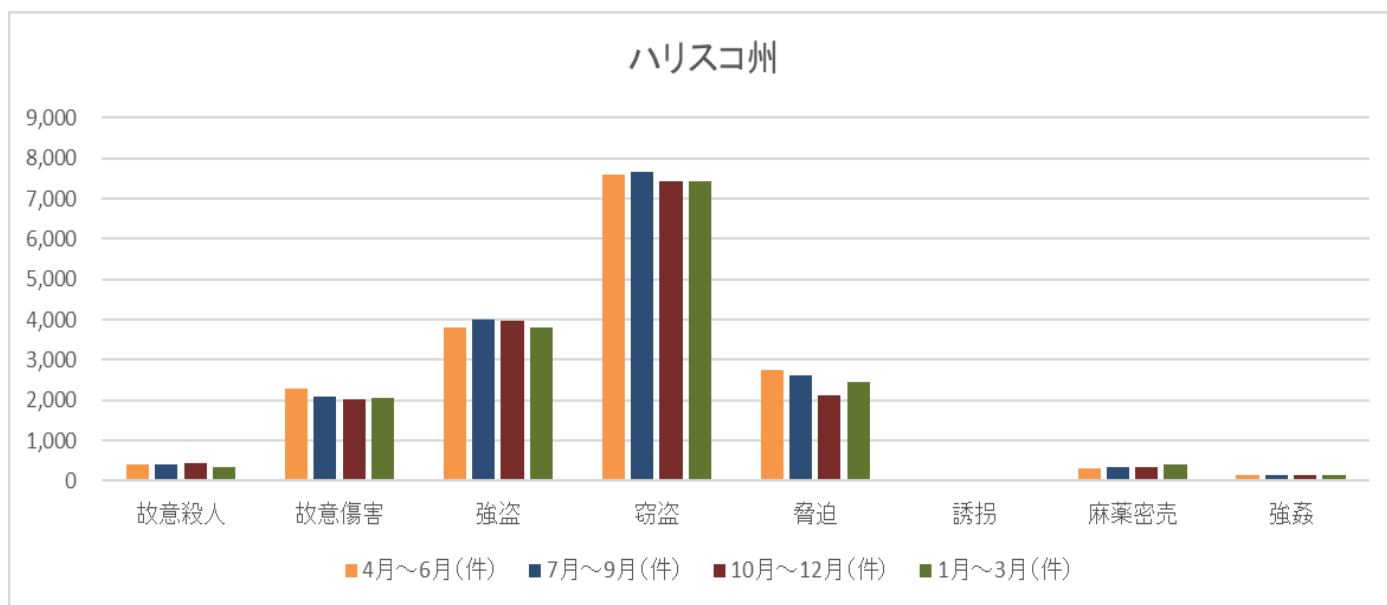
・人口約834万人 犯罪認知総数（1月～3月）32,506件

強盗が非常に多く発生している州です。強盗は邦人被害件数も多い犯罪で、銃器を使用した犯行となっていることから、一歩間違えれば身体へ危害を加えられる可能性も非常に高く注意が必要です。高速道路上でも被害が発生しており、とりわけ早朝や夕方、人通りの少ない道路や店舗の利用は極力避けるなどの対策が必要です。特にラゴス・デ・モレノ市周辺は車両強盗が多い地域となりますのでご注意ください。

・邦人被害（1月～3月）

1月～3月の邦人被害報告はありませんでした。

■主な犯罪	4月～6月(件)	7月～9月(件)	10月～12月(件)	1月～3月(件)
故意殺人	421	414	431	352
故意傷害	2,298	2,095	2,027	2,044
強盗	3,788	3,986	3,961	3,795
窃盗	7,582	7,675	7,412	7,415
脅迫	2,742	2,629	2,135	2,460
誘拐	8	5	3	3
麻薬密売	318	347	339	402
強姦	131	140	145	154



(4) ケレタロ州

・人口約236万人 犯罪認知総数（1月～3月）16,298件

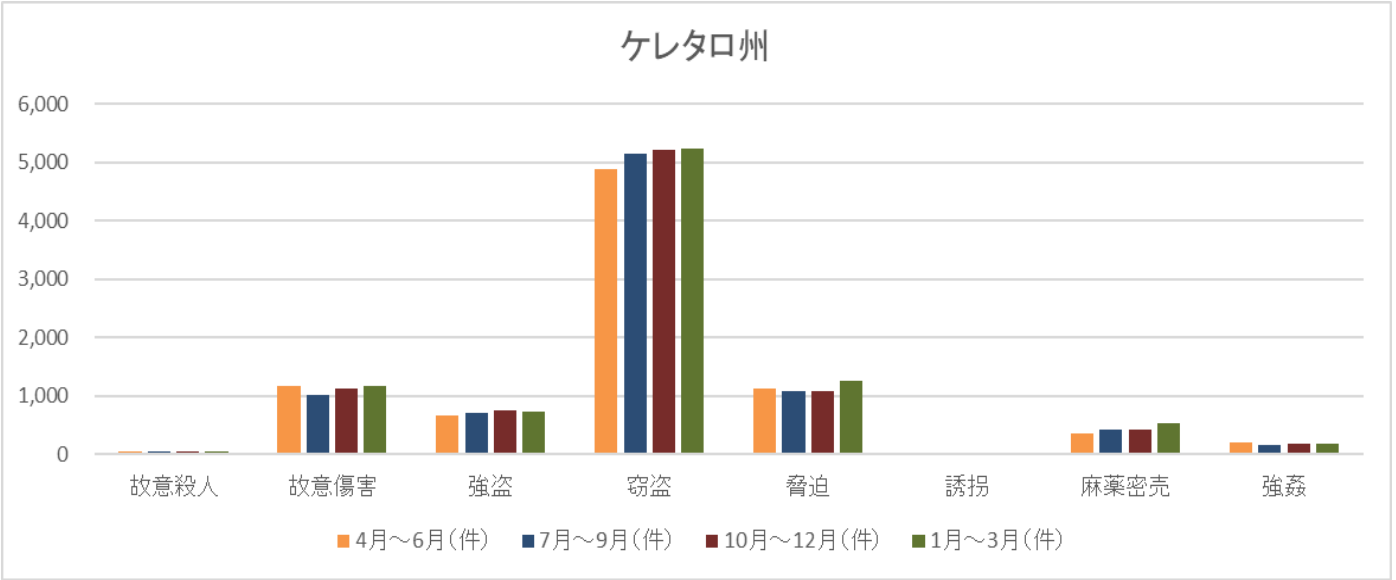
故意殺人の件数は少ないですが、犯罪の多くがケレタロ市で発生しており、強盗・窃盗が多く発生しています。隣接しているグアナファト州やメキシコ州の治安も悪く、州境での車両強盗被害も目立ちますので注意が必要です。都市間の移動については、高速道路を利用して下さい。

・邦人被害（1月～3月）0件

1月～3月の邦人被害報告はありませんでした。

■主な犯罪	4月～6月(件)	7月～9月(件)	10月～12月(件)	1月～3月(件)
故意殺人	44	47	53	46
故意傷害	1,177	1,008	1,125	1,182
強盗	673	709	760	729

窃盗	4,883	5,157	5,213	5,235
脅迫	1,136	1,080	1,085	1,262
誘拐	4	1	4	2
麻薬密売	365	426	432	529
強姦	197	162	172	188



(5) サンルイスポトシ州

・人口約282万人 犯罪認知総数（1月～3月）15,236件

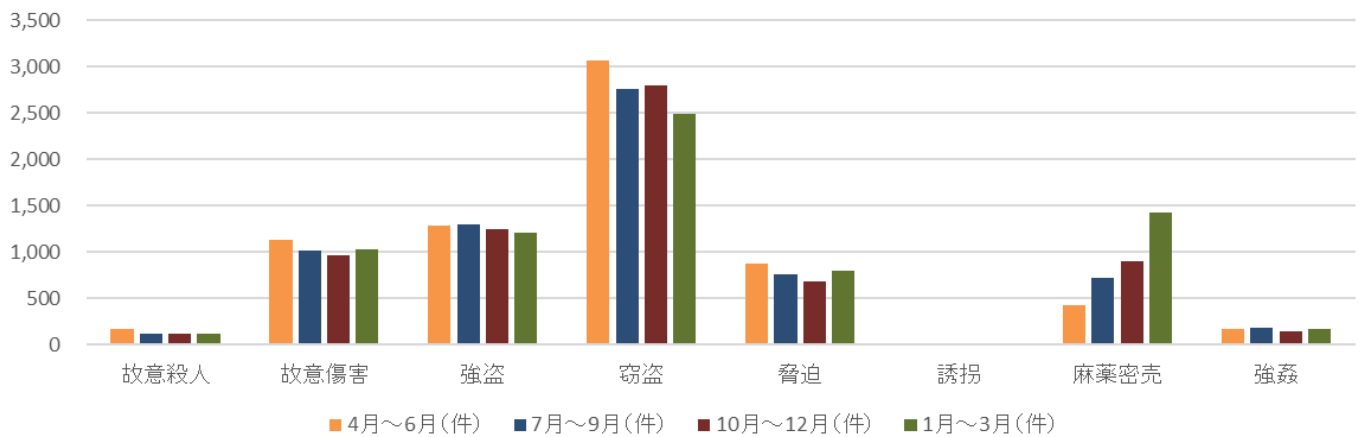
故意殺人の件数は年々増加傾向となっており、その発生率（人口の割合）も高くなっております。また、ここ1年程度で麻薬に関連する犯罪が顕著に増加しておりますので、薬物に関わる事が無いようバーなどを利用する際は注意して下さい。

・邦人被害（1月～3月）0件

直近の犯罪被害報告はありませんでした。

■主な犯罪	4月～6月(件)	7月～9月(件)	10月～12月(件)	1月～3月(件)
故意殺人	173	125	116	119
故意傷害	1,131	1,019	963	1,033
強盗	1,289	1,304	1,241	1,209
窃盗	3,067	2,760	2,797	2,497
脅迫	870	760	687	800
誘拐	1	2	2	1
麻薬密売	432	726	900	1,424
強姦	169	178	144	171

サンルイスポトシ州



(6) サカテカス州

・人口約162万人 犯罪認知総数（1月～3月）6,609件

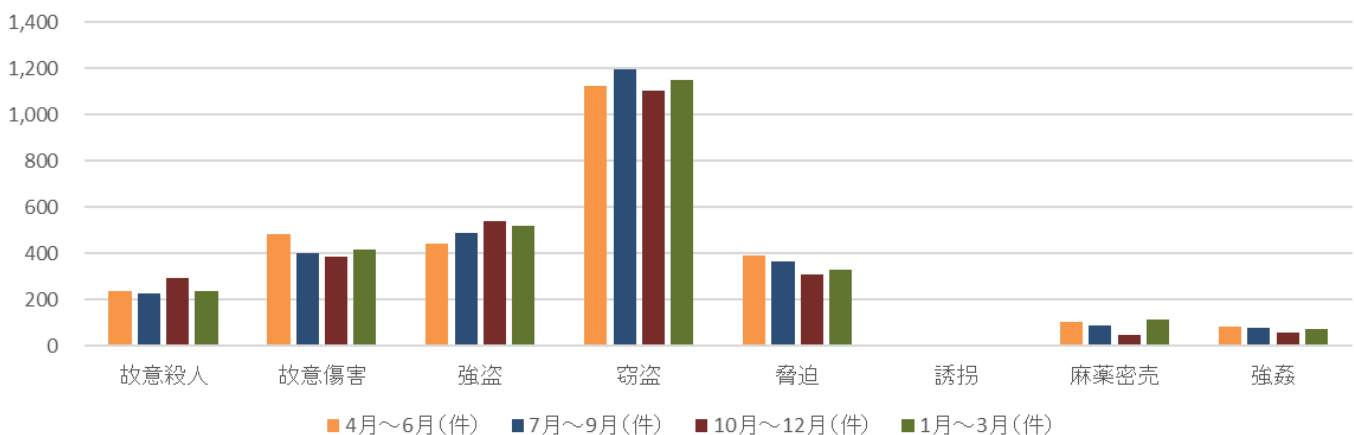
故意殺人の発生率（人口の割合）は、他の州と比べても非常に高い数値となっています。殺人の多くは麻薬関係者と言われておりますが、サカテカス州では複数の麻薬カルテルが抗争を行っているため、十分注意が必要です。

・邦人被害（1月～3月）0件

直近の犯罪被害報告はありませんでした。

■主な犯罪	4月～6月(件)	7月～9月(件)	10月～12月(件)	1月～3月(件)
故意殺人	234	225	291	237
故意傷害	485	399	385	416
強盗	441	486	539	519
窃盗	1,122	1,198	1,105	1,147
脅迫	391	365	308	331
誘拐	2	1	1	3
麻薬密売	104	86	47	113
強姦	83	76	58	73

サカテカス州



3 安全に関わる諸問題及び対応策

- (1) メキシコ国内では、麻薬に関係する犯罪組織の抗争が激化しており、これら組織が関与した発砲事件や殺人事件、警察官を直接狙った襲撃事件も発生しています。それら事件に巻き込まれないためにも、夜間の外出やそれら組織関係者が集まるようなバーやクラブ等の出入りについて極力避けるとともに、違法薬物には一切かかわらないことが大切です。また昼夜を問わず一般市民が利用する公共の場所においても、発砲事件に遭遇する可能性は十分に考えられるため、普段から周囲の変化に敏感になれるよう注意して下さい。
- (2) 銃器を利用した強盗も増加しているため、この様な事件に巻き込まれないためにも発出される領事メール等を参考に、行動の制限（犯罪が多発する時間帯の外出制限、事件多発地域への通行を避ける等）を行うことで、被害に遭うリスクを下げるのが重要です。また、銃器を利用した車両強盗事案では、メキシコ人被害者が抵抗したために撃たれる死傷事件が少なからず発生しています。万が一にも事件に遭遇した際は、抵抗せず犯人の指示に従って下さい。
- (3) コンビニエンスストアやレストランの駐車場における車上荒らしが引き続き発生しており、これら店の立地や利用する時間帯に注意するとともに、車両を離れる際は貴重品を放置しないよう注意が必要です。
- (4) バヒオ地区内では空き巣被害や強盗被害が目立ちます。万が一にも空き巣被害を確認した際には、まずは911（警察、消防、救急への緊急通報番号）通報し警察官同行のもと住居内の確認を行って下さい。犯人が住居内に残っていた場合、拳銃等を所持している可能性が非常に高いことから、住居区の警備員の同行があっても必ず警察官の到着を待って下さい。また、強盗被害に遭遇した場合は、絶対に抵抗することなく犯人の要求に従い、まずは自分自身の命を守ることを優先して下さい。

4 その他

事件事故に遭った際は必ず911番通報を行うよう心掛けて、犯人の逮捕を希望する場合は、検察局（Ministerio Publico）に被害届を提出して下さい。被害届を提出しない場合は、発生した犯罪が事件化されないため、犯罪者が野放しとなります。

同時に管轄する大使館及び総領事館にも被害報告をしていただければ、日本人の皆様へ注意喚起することができるとともに、治安当局に対して事件の再発防止等を当館から訴えることができるためご協力をお願い致します。

5 日本人被害の犯罪発生状況

在メキシコ大使館ホームページの「安全情報」に邦人被害一覧を掲載しておりますので、ご参照下さい。

URL: https://www.mx.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/seguridad_anzen.html

以上